

人権協地区委員会活動の紹介

岸一地区・岸二地区委員会 「食べて、学ぶ、アイヌ料理」

差別や偏見などの人権問題の解決には、正しい知識と理解が欠かせません。アイヌの人々は北海道を中心とした地域に居住していた先住民族で、独自の民族衣装、文化や宗教などのため、就職や結婚などで差別を受けていますが、身近でないため、理解が進んでいないのが現状です。

今回は、アイヌの人々が日常的に食べていたものを試食することでこの問題に興味を持ってもらうことを目的に取り組みました。

イナキビご飯（シプシケプメシ）と二種類の汁物、鮭の汁物（チェプオハウ）・鹿肉の汁物（ユクオハウ）を試食しました。いなきびとコメの炊き込みご飯は、もっちりとして食べやすく、塩と昆布でだしを取った汁物は、あっさりとしたものでした。参加者からは「鮭の塩でおいしい」「鹿肉は初めて食べたが、臭みもなく、あっさりしている」などの感想もあり、おかわりする人もいました。

アイヌの人々にインタビューするDVDを流しながら食事をいただきました。講師の出原氏から、北前船で鮭を大阪に輸送しており、アイヌの人々も訪れていた史実が残されていることが紹介されました。アイヌの人々にとって、暮らしを支える大切な魚であり、アイヌの儀式などには欠かせない「鮭」ですが、鮭禁漁政策により、一方的に鮭漁を禁じ、権利が奪われていることを今回の研修で学ぶことができました。

岸一地区・岸二地区 ブロック代表 田村 尚俊



西山田地区現地研修会 「止揚(しょう)学園」 ～ともに生きるという事～

6月6日、滋賀県にある障害者支援施設「止揚学園」を訪問しました。止揚学園は重い知的障がい者が生活する場です。今回の一番の目玉は、参加者と学園の皆さんと一緒に昼ご飯を食べてふれあうということでした。この日のメニューは、食べ放題のとうふコロケと現地で採れた野菜のサラダ、味噌汁など。学園の皆さんから歓迎のことばがあり、食前のお祈りがありました。各テーブルで我々をもてなしてくださるスタッフの方から、ここでの暮らしや、なぜここで働くようになったかなどのお話も聞けました。学園の仲間が歌を披露してくださり、我々も即興で「ふるさと」を歌ってお返しをするなど、心温まる交流会でした。

そのあと福井生（ふくいいくる）園長のお話があり、学園を見てまわりました。外壁も内装もかわい絵と明るい色彩があふれて、皆さんが気持ちよく毎日生活されている様子がわかりました。学園の生活についてお話してくださる利用者さんが、お気に入りの見学者を見つけて離さないといったほほえましい光景もありました。

お別れでは学園の皆さんが、私たちが見えなくなるまでいつまでもいつまでも手を振ってくれました。「共に生きる」ということを少しだけですが実感できた貴重な一日でした。

西山田地区委員会代表 神戸 寿夫



あなたも人権啓発推進委員になりませんか！

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。下記の人権協事務局までお問合せください。

発行／吹田市人権啓発推進協議会 事務局／吹田市 市民部 人権政策室内 〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345 E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp



No. 55

令和6年(2024年)10月

2,3面: 施設訪問 吹田市立男女共同参画センター・デュオ 4面: 地区活動の紹介

—2024— 人権フェスティバル

～地域から、心をつなぐ人権の輪～

日時 12月8日(日) 13:30～16:00(開場 13:00) 申込不要

場所 メイシアター 中ホール 入場無料 手話通訳あり



講演 みんなの学校が教えてくれること

講師 きむら やすこ 木村 泰子 さん(大阪市立大空小学校初代校長)

■プロフィール

大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障がいの有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演などで全国の人たちと学び合っている。



コンサート オカリナ（土の音色）とピアノ（木の音色）と手話歌の癒しのコンサート♪

出演 いずみん さん(オカリナ・手話歌・朗読パフォーマー)

■プロフィール

東大阪市在住。25年前、エル・ミガロのオカリナとの出会いでオカリナ人生をスタート。長年オカリナ講師や自分流の演奏活動を行っている。最近、呼吸を重視した椅子での体操をメインとする「ミックスみゅーじっく体操」の講師や障がい者支援にも力を入れている。子供発達支援アドバイザー、レクリエーション介護士2級。YouTube：いずみんのオカリナパフォーマンスチャンネル



伴奏ピアニスト

おおさき ゆうこ 大崎 裕子 さん 吹田市在住

2024 市民ひゅーまんセミナー地区開催

令和6年9月28日(土)、千里市民センター2階大ホールにて吹田市人権啓発推進協議会の桃山台、津雲台、高野台、佐竹台各地区委員会が市民ひゅーまんセミナーを共催し、約170人にご参加いただきました。

講演に先立ち、シャンソンサークルとして活躍されている「プレジール」の寺田さんが、諸岡さんのピアノ伴奏にて「サン・トワ・マミー」に始まり、「パリの空の下」と続き、皆さんよくご存じのシャンソンを熱唱され、最後は「愛の賛歌」で締めくくられ大変盛り上がりしました。

講演は、「高齢化社会を迎えて、日々を楽しく過ごす」というテーマにて桃山学院大学名誉教授の石田易司様より約1時間にわたりお話をいただきました。高齢化社会が進む中で高齢者がこれから出会うであろう数々のライフイベントを具体的に提示されました。例えば家族の病気やケガ、暮らし向きの変化、親戚・家族関係の変化等々。これら様々なライフイベントのことを元氣な時から予め考えていくことが大事であるとお話されました。また、歳を重ねることによる変化、例えば身体的変化(衰え)、退職後の収入の変化、退職後の配偶者との日常生活等々を当然のこととして受け入れるという心の持ちようも大切ですよ、というお話に感動し納得しました。



佐竹台地区委員会代表 吉田純威



施設訪問

吹田市立男女共同参画センター・デュオ

～デュオの取り組みを学んできました！～

「デュオ」とは…

「二重奏」を意味する言葉から、まずは一人より二人から始め、いろいろな人の交流の場所となるように、との願いが込められているそうです。

センターについて

目的：男女共同参画の推進に関する施策を実施し、並びに市民及び事業者による男女共同参画の推進に関する取組を支援するための拠点施設。

開館年月日：昭和62年（1987年）6月1日

平成5年（1993年）10月1日に吹田市立婦人会館から吹田市立女性センターへ名称変更し、愛称をデュオとした。また、平成14年（2002年）11月1日から吹田市立男女共同参画センターへ名称変更。

男女共同参画センター・デュオでは主に6つの事業に取り組まれています。

- ①講座・研修会は意識啓発講座や社会参加促進支援講座、DV防止対策講座、事業者向け研修会などさまざまな内容で開催。
- ②センターを利用している団体・グループ・サークル等を対象に懇話室・印刷機の利用を許可し、交流や親睦、学習の支援を行う。
- ③啓発事業ではセンターだより「ソフィア」発行やSNSの情報発信による意識啓発。
- ④情報ライブラリーではさまざまな図書や資料など、男女共同参画に関する情報の収集と提供。
- ⑤調査研究では男女共同参画の推進にかかる様々な課題について、調査や研究を実施し、各種事業に反映。
- ⑥相談員がさまざまな悩みに関する相談を受け付け、傾聴や助言、専門窓口の案内などを行いながら相談者と共に問題解決のために考える相談事業。

その中でも今回は講座について取り上げようと思います。主催講座には4種類の講座がありました。
※過去の講座を抜粋して取り上げています。現在、実施していない講座もあります。

（1）意識啓発講座

目的 男女の人権を尊重し、性別による固定的役割分担意識に基づく社会制度や慣行を解消する。

「パパと子供のクッキング ～休日のランチを作ろう!～」

父親に対しては日常の家事・育児への参加をより一層促し、子供たちに対しては家族の一員として子供であってもできることは自分で行うように伝えることで、将来の生活の自立につなげます。



PICK UP!

（2）社会参加促進支援講座

目的 再就職、キャリアアップなど男女が社会のあらゆる分野で性別にかかわらず、個性と能力を発揮する。

「Dear本気WOMAN、創業支援塾 ～趣味から飛び出せ!第一歩～」

何かを始めたいと思いつつも行動に移せずにいる女性の力を引き出し、自己実現と社会参画をかなえます。さらに商工会議所・地域経済振興室と連携することで具体的な支援につなげます。



PICK UP!

（3）男女共同参画講演会

目的 男女が互いの人権を尊重しながら、男女共同参画社会の実現に向けて意識の向上を行う。

「ひとり芝居 旅立ちの詩 ～彼女たちの羅針盤～」

さまざまな生きにくさを抱えたマイノリティの女性の苦悩を描いたひとり芝居を通して、多様な生き方を認め合い誰もが安心して生きることのできる社会の実現について考えます。

PICK UP!

（4）DV防止対策事業

目的 DV被害者の自立支援とデートDV予防の啓発を行う。

「子づれシングルとして生きる ～前に進むための情報・支援・繋がり～」

子づれシングルとして前向きに生きていくために必要な心構えや、子どもとの関係について共に考えます。

PICK UP!

出前講座 デートDV予防啓発出前講座 【中学生対象】

自分自身のデートDV被害や身の回りにあるデートDVに気づくことを目的としています。講師は専門の講師及びユースリーダー養成講座を修了した大学生たちです。自分たちでプログラムを考え中学校で出前授業を行っています。

PICK UP!

講座を安心して受けてもらうために、一時保育「ぞうさんのへや」があります。

年 度	意識啓発講座			社会参加促進支援講座			DV防止対策講座			講演会			市民グループ等自主企画講座等			その他（情報ライブラリー利用促進講座）			合計		
	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）	講座数（講座）	延開催回数（回）	延受講者数（人）
令和元年度（2019）	22	46	761	9	29	634	22	29	2,798	3	3	140	23	32	579	-	-	-	79	139	4,912
令和2年度（2020）	10	16	234	8	28	295	24	29	2,864	2	3	81	14	20	243	-	-	-	58	96	3,717
令和3年度（2021）	14	24	375	9	29	425	34	42	3,846	3	4	137	20	33	388	-	-	-	80	132	5,171
令和4年度（2022）	15	34	425	9	31	537	31	39	3,441	3	4	128	21	36	481	-	-	-	79	144	5,012
令和5年度（2023）	19	38	645	6	25	462	24	32	3,107	-	-	-	-	-	-	12	29	362	61	124	4,576

資料：男女共同参画センター オープンデータ主催講座開催回数及び延受講人数



情報ライブラリー

男女共同参画に関する図書や資料など情報の収集と提供をされています。

市民ボランティアさんが本の紹介などを行っており、沢山のアイデアや工夫で素敵なライブラリーになっていました。ぜひ、皆さんも活用してみてください。



相談事業

女性のための悩み、DV相談、女性のための法律相談、男性のための電話相談など相談員がさまざまな悩みの相談にのってくれます。

女性向けの相談は女性相談員が対応し、男性のための相談は男性相談員が対応されています。

あ と が き

男女共同参画センター・デュオは、ジェンダー平等を推進する拠点として、明るく開放的な雰囲気がとても印象的でした。

入り口には情報ライブラリーがあり、奥には講座やワークショップが行われる視聴覚室や研修室もあります。貸室もよく整備されていました。日常の悩みに応じる相談窓口も設置されており、地域の頼れる存在です。

スタッフの親切で温かな対応から、男女共同参画センター・デュオが単なる施設ではなく、地域に根ざした安心できるコミュニティ施設であると感じました。

施設案内

〒564-0072 大阪府吹田市出口町2番1号

電話番号：06-6388-1451

FAX番号：06-6385-5411

開館時間：午前9時から午後9時

（受付は午後5時30分）まで

休 館 日：祝日、年末年始